

南田中図書館 新着CD

タイトル	アーティスト等	主な収録曲
ピアノ協奏曲第20番・第21番	モーツァルト	ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466 計2曲
弦楽四重奏曲	ハイドン	弦楽四重奏曲 第67番 二長調 作品64の5 計4曲
ハニワ曲歌ってみた	V. A	初恋の絵本／今好きになる 計12曲
3.0 ライヴ	スティング	孤独のメッセージ／セヴン・ デイズ 計10曲
フォーエヴァー～ベスト・オブ・アヴィーチー	アヴィーチー	ウェイク・ミー・アップ／ ハイ・ブラザー 計22曲

一般特集

1階フロア奥通路／館外出窓
行楽！
日本各地を巡ろう

時事展示

1階正面入り口横
ビブリオバトル

地域特集

1階カウンター前
乳がん月間

環境特集

1階正面玄関前 環境コーナー
3R(スリーアール)を
知ろう！



視聴覚特集

1階コピー機横 新着CD棚
カバーソング

青少年特集

2階青少年コーナー
芸術にふれる

階段展示

階段踊り場
秋といえば…

児童特集

2階エレベーター前
〇〇食べよう！

中高生大募集！

スタッフと共に青少年イベントを盛り上げていく中高生ボランティア
「ユースサポーター in Minamitanaka」のメンバーを随時募集しています。
詳細は南田中図書館内のポスター・チラシをご覧ください、スタッフまでお尋ねください！

南田中図書館だより

2025

10

第191号

発行 練馬区立南田中図書館
指定管理者 株式会社図書館流通センター
令和7年(2025年)10月1日発行

クマでビックリした話

義父のふるさとを訪ねて新潟県上越市に行きました。義父は新潟県東頸城郡菱里村(ひがしくびきぐんひしざとむら)の出身で市町村合併を経て現在は上越市安塚区となっています。

宿泊していたホテルの方にどんなところか聞いてみたところ、とにかく雪の多いところだと言われたのが印象に残りました。

季節は初夏だったので雪があるわけが無かったのですが、道の駅「雪のふるさとやすづか」があると知り訪ねてみました。日程があわずその日は見学できませんでしたが、道の駅内には雪室があり、冬に積もった雪が約100トン貯蔵され、お米やお酒、そば粉などを保存するのに使用されています。

道の駅でも、義父の生家がかったあたりのことを聞いてみましたが、そのあたりは過疎化が進んでいて、「最近そのあたりでクマが出たばかりなので、行ってもいいが車から降りない方がいい」との忠告をされて、とてもビックリしました。

道の駅は国道沿いにありましたが、そこにも直前にクマが出たから注意してほしいとの看板が立っていました。

初夏はやはりクマが活発になるシーズンですね。また、行楽の秋も冬眠前でクマが活発になります。場所によってはクマに十分ご注意ください。

図書館スタッフおすすめの本

978-4から始まる13桁の数字は
本を識別する「ISBNコード」です

一般

バッタを倒すぜアフリカで

前野ウルド浩太郎 著

光文社 | 2024年

978-4-334-10290-6



度々大量発生してはアフリカの農作物を食い荒らすサバクトビバッタ。このバッタは、どのようにしてこんなにも多く繁殖するのか。『バッタを倒しにアフリカへ』の著者が、長年の研究の末にたどり着いたサバクトビバッタの繁殖行動について、アフリカでの体験を交えながら、面白おかしく記した奮闘記。

新刊 青少年

ピーチとチョコレート

福木はる 著

講談社 | 2024年

978-4-06-537390-3



自らの体型に悩みを持つ少女萌々(もも)が、ひょんなことから「ヒップホップで世界が変わる」という言葉に魅せられて、ラップを始める。親に内緒で通い始めたヒップホップ教室で無愛想なクラスメイトの莉愛(りあ)と出会い…。友情あり、恋愛あり。ラップが好きになる、読後感が爽やかな青春物語。

新着 CD

Aurora

ロベルト・オルサー・トリオ

澤野工房 | 2024年

AS 505



美しく繊細な音が魅力のジャズ・トリオ。オリジナル曲やエンニオ・モリコーネの「サハラ」の夢」、日本の梅林茂の「夢二のテーマ」などの映画音楽の楽曲も収録されています。「夢二のテーマ」はクラシックとの相性が良い印象がありますが、本作は独自の解釈によりジャズアレンジされた一曲。是非聴いてみてください。

新刊 児童

わたしの町ナガサキ 原爆を生きのびた柿の木と子どもたち

キアラ・バッソリー 作 | 森敦子・さとうのりか 訳

アントン・ジョナータ・フェッラーリ 絵

工学図書 山本のえほん | 2025年

978-4-7692-0513-5



長崎で穏やかに暮らす夫婦が植えた柿の木は家族を見守りながら大きく育ちます。家族の大切な日常、命を戦争や原子爆弾が奪ってしまいましたが、奇跡的に柿の木は生き残ります。実在する、この柿の木を知ったイタリア人の著者が子どもたちに朗読するために調査に基づいて書いた本です。戦後80年の今、読んでみたい1冊です。